

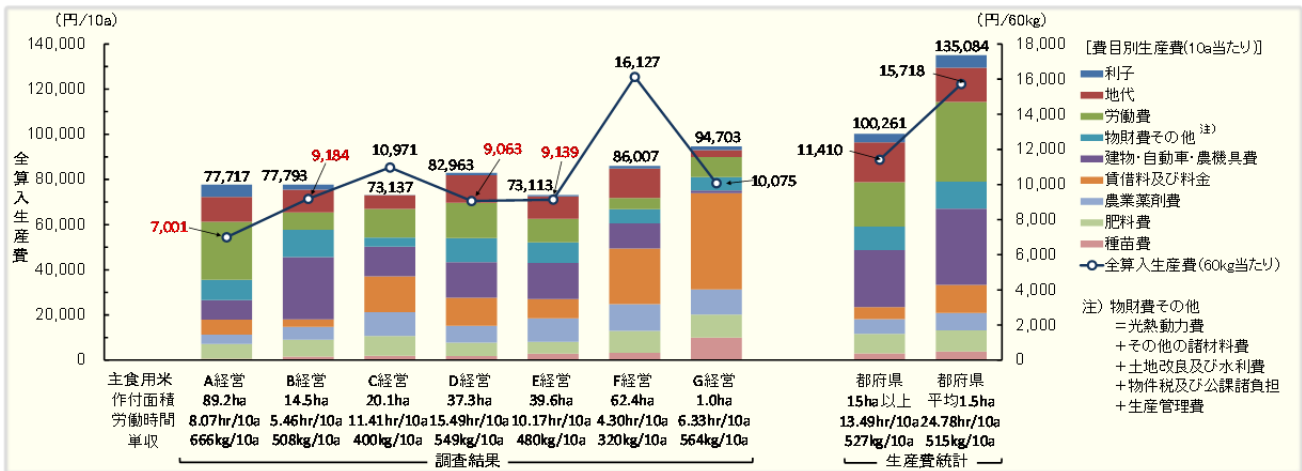
## 県内稲作経営の取組からみた米生産費低減のポイント

### 【1 成果の要約】

各地域・経営での稲作生産コスト低減の取組を進めるため、岩手県における先進的稲作経営の米全算入生産費を算出するとともに、取組実態からみた米生産費低減のポイントを整理しました。

### 【2 成果の概要】

(1) 県内先進的稲作経営(7経営)の10a当たりの全算入生産費(主食用米)は73,113~94,703円であり、全経営で10万円を下回るなど、コスト低減が図られています(下図)。60kg当たりの全算入生産費は、4経営で7,001~9,184円となっており、国の目標(9,600円)を既に達成しています。



(2) 低コスト化を実現している先進経営の取組からみた米生産費低減のポイントは下表のとおりです。

10a当たりの生産費	変動費 (資材等)	<b>使用量削減技術の導入</b> 疎植栽培による種苗・諸材料(培土)費の削減 側条施肥、補給型施肥、減農薬栽培による農薬・肥料費の削減 等 <b>調達価格の低減</b> 大口割引、共同購入、直接仕入・入札の活用 等
	固定費 (機械・施設等)	<b>稼働面積向上</b> 麦・大豆等を含めた汎用利用、水稻複数品種の組合せによる作期拡大 共同利用(機械利用組合、共同利用施設の活用) 等 <b>長期利用</b> 定期的なメンテナンスの実施、機械整備技術の習得 等 <b>調達価格の低減</b> 中古機械の利用、補助事業の活用 等
		<b>特に重要!</b> <b>労働費 (労働時間)</b>
	60kg当たりの生産費	10a 当たりの生産費低減の取組を行いながら、 <b>一定以上の単収の確保</b> も重要

### 【3 留意事項】

- 地域・経営内外の環境を踏まえ、実施可能なものから順次取組み、経営改善を進めることが重要です。
- 詳細は、別途作成する研究成果書や報告書を参照してください(当所ホームページで公開)。

### 【4 活用場面】

稲作生産コスト低減に向けた各経営での取組、普及センター・農協等の指導・支援等の参考となります。

担当研究室 企画管理部 農業経営研究室

〒024-0003 北上市成田 20-1 TEL. 0197-68-4404 FAX. 0197-68-2361